



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：憲法準備委員会

(18日付現地各紙)

18日付現地各紙は、憲法準備委員会委員選出基準の決定について報じている。

1. 17日、人民議会およびシューラー評議会の合同委員会が開催され、投票により、憲法準備委員会の構成委員100名につき、50名を議会内から、50名を議会外から選出することが決定された。議会内と議会外の割合について、50:50とする案は、585票中472票、0:100は14票、10:90は3票、100:0は0票、80:20および90:10はそれぞれ3票を得た。
2. 人民議会防衛・国家安全保障委員会ファリド・イスマーイル副委員長（自由公正党）によれば、自由公正党は、議会諸派の要求に応じ、当初の自由公正党の案40:60から50:50に割合を変更した。
3. 議会内選出50名は、人民議会およびシューラー評議会の政党構成比に応じて選出される。議会外選出50名は、NGO等を含む主な機関から代表者や専門家が選出され、候補者の届け出受付の開始は18日で、21日午後2時に締め切られる。その後、24日に開催される人民議会およびシューラー評議会の合同委員会において、憲法準備委員会委員が決定される予定。なお、憲法準備委員会委員の欠員に備え、20名の補欠委員も選定される。
4. 「変革のための国民連合」報道担当アフマド・ターハは、憲法宣言は、憲法準備委員会委員は議会外部から選出されることを想定しているとして、訴訟を起こすと述べた。「4月6日運動」アフマド・マヘル代表は、議会の多数派は全エジプトを代表していないとして、今回の選出手続きは非合理であると述べた。「1月25日革命連合」は、イスラム主義者は、議会の多数派であることを乱用して、憲法制定過程を支配しようとしていると述べた。